

Skip UP!

2014年 6月 6日

発行責任者 森川 学

NO. 72

編集責任者 情 宣 部

2014年度夏季手当

**H25年度経常利益34億円の黒字達成に職場の青年部員がどれだけ苦勞したのか
会社は何とも感じてないのが経営陣の言動で改めて明らかとなった(怒)!!**

職場で奮闘している青年部員の皆さん、大変お疲れ様です。2014年度夏季手当交渉は本日第4回交渉が行われ、夏季手当闘争は山場を迎えました。

昨年度(H25年度)は34億円の黒字を達成しました。この黒字は職場での私達青年部員の苦勞と努力によって成されたものである事は明らかです。しかし、会社経営陣は『また』私達青年部員を怒り、失望させる言動を行いました。

**「職場のモチベーションは下がっている」と主張する組合に対して
会社「職場で事故は起こっていないので下がっているとは思わない」**

5月30日の第3回交渉において、組合は「職場のモチベーションが下がっている」と主張した事に対し、会社経営陣は「職場で事故は起こっていないので、モチベーションが下がっているとは思わない」と回答しました。職場で働く青年部員の皆さん、この経営陣の発言をどう思いますか？許せますか？

私達はJR貨物が将来まで安心して働いていける会社にしていくために、職場では要員不足や老朽化した設備の中、汗をかき、クタクタになりながらも頑張っ、そんなぎりぎりの状況の中で、列車の安全、安定輸送を保ってきた。34億の黒字はそういう私達の頑張りがあったからこそ達成されたのです。その事を会社は認識せよ!!

会社がおかれている状況を理解していないのは会社経営陣だ。言動に表れているぞ!!

会社経営陣は「鉄道事業部門の黒字化に向け協力してほしい」と言うが、職場の青年部員は本当に疲れながらも、会社と自分の将来を真剣に考え、この時間も実際に頑張っている。今の会社の現状を理解していないのは会社のほうではないのか？それが今回の発言や役員報酬や管理職手当のカットの停止や減額に表れてきている。経営陣は今までこんな言動を繰り返してきた。それが今のJR貨物会社の状況の原因であることをいっかげん気付け!!

**経営利益34億円の黒字は私達の苦勞と努力として認め、形として応えない限り
会社がいくら「鉄道事業部門の黒字」と言ったところで青年部は絶対許さないぞ!!
経営陣は「姿勢と覚悟」をしっかりと見せ、青年部員の苦勞に本気で応えよ!!**